

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間26期(2022~2023年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	後藤 由歌	30単位	1010時間

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回 授業計画及び学習の内容

- 1 ワインディング基礎技術
- 2 ブロッキング技術
- 3 上巻き
- 4 下巻き
- 5 全体構成
- 6 タイム計測
- 7 セット技術
- 8 カーラー・ホットカラー
- 9 編み込テクニック
- 10 シニヨン
- 11 トップシニヨン
- 12 ネープシニヨン
- 13 ロールシニヨン
- 14 ワンロール
- 15 夜会巻き
- 16 抱き合わせ
- 17 アイロンテクニック
- 18 プライダルヘアテクニック
- 19 シャンプー・ブロー技術
- 20 サイドシャンプー
- 21 バックシャンブー
- 22 ブローテクニック
- 23 ハンドブローテクニック
- 24 スタイル剤の使い方
- 25 ヘアカラーリング基礎技術
- 26 ファッションカラー (ワンタッチ・リタッチ技術)
- 27 グレイヘア (リタッチ技術)
- 28 酸性カラー
- 29 ヘアカラーリング応用技術 (ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
- 30 パーマネントウェーブ基礎技術 (デザイン巻きテクニック)
- 31 パーマネントウェーブ応用技術
- 32 ヘアカット技術 (ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
- 33 国家試験第1課題 (レイヤーカット)
- 34 国家試験第2課題 (オールウェーブセッティング・ワインディング)
- 35 国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

美容室に長年勤務し、その後平成14年に当校の教員となり、平成15年に美容実習の資格を取得する。

今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ

国家試験でも多くの学生を合格に導いている。

当校の課長職にも就任し学校全体を見渡す存在になった。

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間26期(2022~2023年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	羽根田 祐弥	30単位	1010時間

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネープシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー（ワンタッチ・リタッチ技術）
27	グレイヘア（リタッチ技術）
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術（ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他）
30	パーマメントウェーブ基礎技術（デザイン巻きテクニック）
31	パーマメントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術（ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット）
33	国家試験第1課題（レイヤーカッティング）
34	国家試験第2課題（オールウェーブセッティング・ワインディング）
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となり、平成19年に美容技術理論の資格を取得する。

今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ

国家試験でも多くの学生を合格に導いている。

2023年度からは教務主任に就任し学校全体を支援するようになる

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間27期(2023~2024年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	木村 智美	30単位	1010時間

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回 授業計画及び学習の内容

1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネープシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー（ワンタッチ・リタッチ技術）
27	グレイヘア（リタッチ技術）
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術（ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他）
30	パーマメントウェーブ基礎技術（デザイン巻きテクニック）
31	パーマメントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術（ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット）
33	国家試験第1課題（レイヤーカッティング）
34	国家試験第2課題（オールウェーブセッティング・ワインディング）
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

美容室に長年勤務し、その後平成6年に当校の教員となり、平成9年に美容技術理論の資格を取得する。

今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ

国家試験でも多くの学生を合格に導いている。